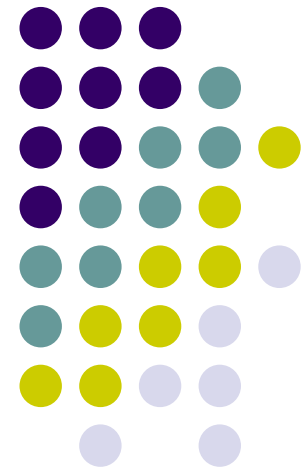


# 平成26年3月期決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所

JASDAQ(スタンダード):3953





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

# 会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事 業 部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営 業 所 : 会津・レーベル湘南
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

# 事業の状況



- 当事業年度におけるわが国経済は、アベノミクスに代表される様な経済政策や日銀の金融緩和政策等により、企業業績は穏やかな回復基調をたどりました。個人消費も消費税増税前の仮需と相まって、底堅く推移しています。しかしながら新興国の経済に少しかげりが見えてきており、海外情勢や日本を取りまく近隣諸国との諸問題等がリスク要因となり、不透明な状況で推移しました。
- 当業界におきましては、平成25年度全国段ボール生産量は前期比103.6%となりました。また、年明けには原紙価格の値上げがありました。また、段ボール製品価格につきましては、軟調に推移しました。
- 生産量につきましては、段ボールシート57百万 $m^2$  (前期比1.5%減)、段ボールケース38百万 $m^2$  (前期比2.7%減)となりました。
- 売上高は4,935百万円 (前期比1.8%減)となりました。利益面におきましては、徹底した経費削減及び管理により、経常利益431百万円 (前期比0.5%増)となり、東京電力株式会社の福島原発事故に伴う損害賠償金の受入、前期の繰延税金資産の取崩しの影響により、当期純利益269百万円 (前期比164.0%増)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

# 業績概要①



売上高:前期比1.8%減 経常利益:前期比0.5%増 当期純利益:前期比164.0%増

(単位:百万円)

	当期 (平成26年3月期)	前期 (平成25年3月期)	前期比率
売上高	4,935	5,023	-1.8%
営業利益	413	419	-1.4%
経常利益	431	429	0.5%
当期純利益	269	102	164.0%
1株当たり当期純利益金額(円)	56.06	21.24	

## 業績概要②



総資産の主な増加要因は、機械及び装置、リース資産であります。  
自己資本比率64.2%となりました。

(単位: 千円)

資産の部	当期末 (平成26年3月末)	前期末 (平成25年3月末)
流動資産	4,344,821	4,205,832
現金及び預金	2,696,517	2,664,791
受取手形	472,259	475,679
売掛金	738,095	691,098
たな卸資産	332,170	310,873
その他流動資産	105,777	63,390
固定資産	2,852,127	2,228,652
有形固定資産	2,608,322	1,976,967
無形固定資産	16,219	12,532
投資その他の資産	227,584	239,153
資産合計	7,196,948	6,434,485

(単位: 千円)

負債・純資産の部	当期末 (平成26年3月末)	前期末 (平成25年3月末)
流動負債	1,706,494	1,432,119
支払手形	944,784	833,698
買掛金	130,495	234,124
未払法人税等	103,103	116,028
その他の流動負債	528,111	248,268
固定負債	866,569	603,710
退職給付引当金	172,847	213,571
役員退職慰労引当金	371,058	373,238
その他	322,663	16,900
負債合計	2,573,063	2,035,829
純資産合計	4,623,885	4,398,655
負債・純資産合計	7,196,948	6,434,485



## 業績概要③

(単位:千円)

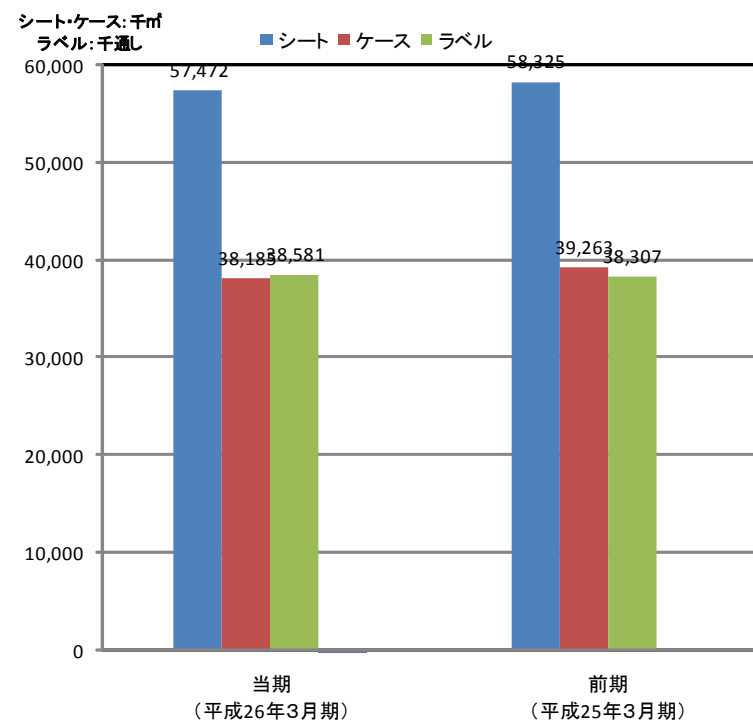
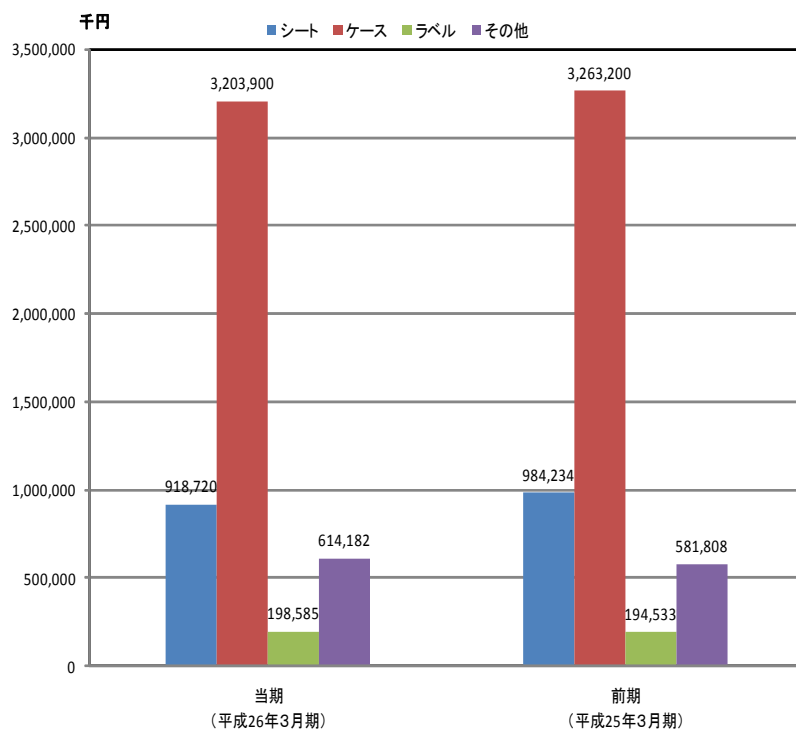
	当期 (平成26年3月期)	前期 (平成25年3月期)
営業活動による キャッシュ・フロー	340,180	564,832
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 242,505	▲ 89,239
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 65,956	▲ 48,201
増減額(減少:▲)	31,718	427,390
現金及び現金同等物の 期首残高	2,635,564	2,208,173
現金及び現金同等物の 期末残高	2,667,283	2,635,564



# 品種別売上高及び生産実績

ラベル・その他は売上増加となり、シート・ケースは売上減少となりました。

ラベルは生産増加となり、シート・ケースは生産減少となりました。







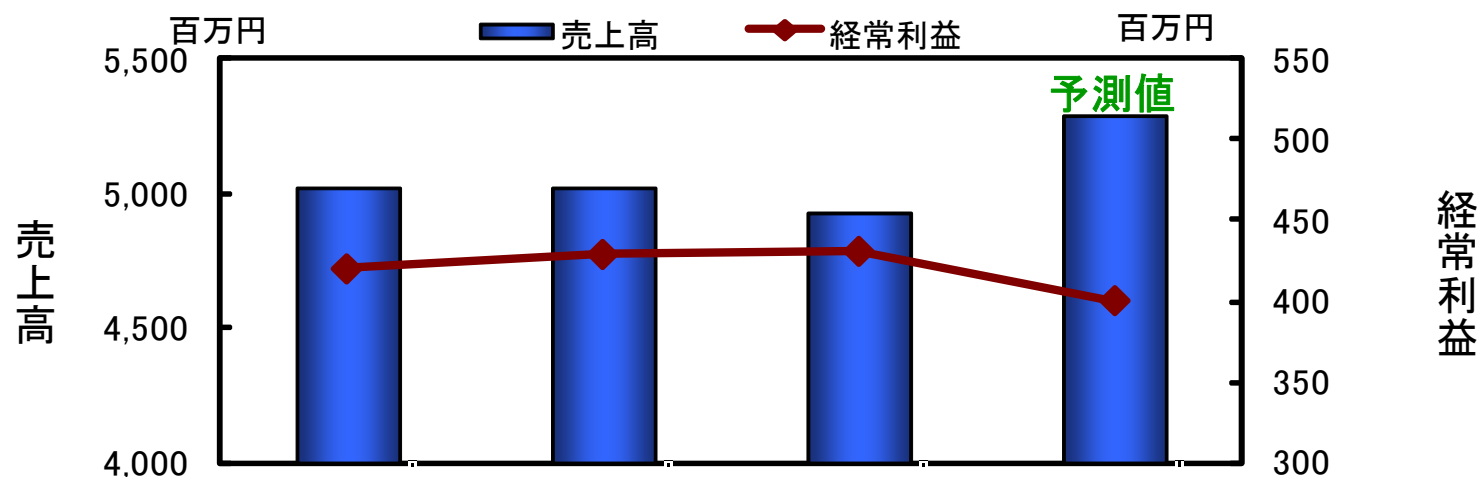
## 今後の見通し

- 次期の見通しにつきましては、政府や日銀における諸政策を背景に、引き続き緩やかな景気回復が続くと思われまます。消費税増税に伴う反動減や個人消費の一時的な落ち込みがあるものの雇用及び所得の改善等により底固く推移するものと見られます。しかしながら、新興国に見られます様に経済にかげりが出つつあることと、欧州債務問題など依然として不透明な状況も予想されます。当社といたしましては、このような状況のもと今までにない設備投資を実施し、販売のバックアップ体制を図りたいと考えております。
- このような見通しのもと、当社の平成27年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,298百万円(前期比7.4%増)、営業利益401百万円(同3.0%減)、経常利益400百万円(同7.0%減)及び当期純利益228百万円(同15.3%減)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。これは将来の利益に貢献し、かつ株主各位への安定的な利益還元に寄与できるものと考えております。



# 売上高および経常利益の見通し

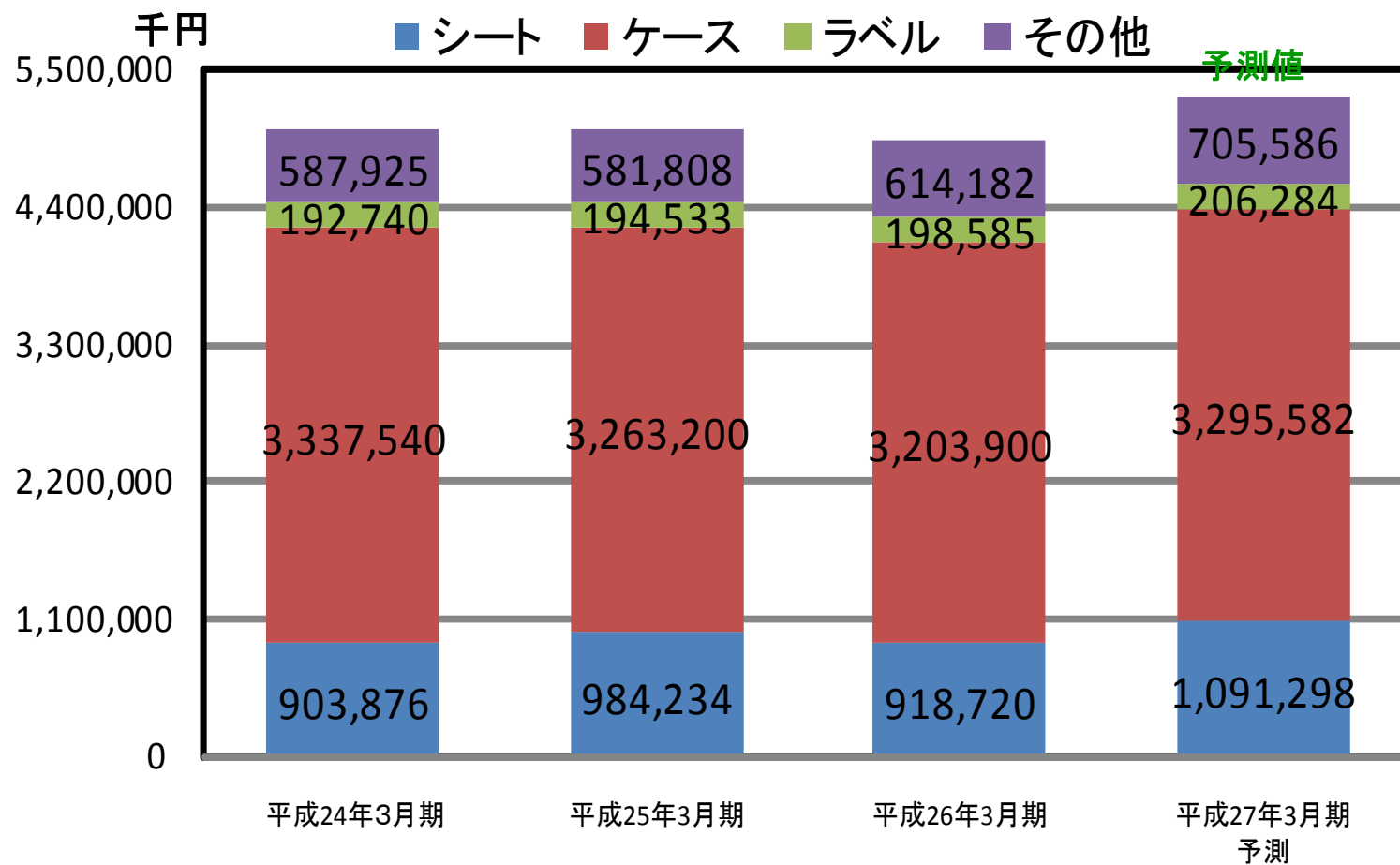
※売上高5,298百万円(前期比7.4%増)、営業利益401百万円(同3.0%減)、経常利益400百万円(同7.0%減)及び当期純利益228百万円(同15.3%減)を計画しております。



	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期 予測
売上高	5,022	5,023	4,935	5,298
経常利益	420	429	431	400



# 品種別売上高の見通し





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。